

2024 年度臨床研究の承認状況

| 承認番号 | | 課題名 | 研究責任者 | 共同研究者 | 研究の概要 |
|------------|----|------------------------------------|--------|--|---|
| ER2024-001 | 承認 | 歯科外来にてウェアラブル筋電計を用いた睡眠時ブラキシズム診断について | 坂口 千代美 | 今後は岡山大学病院補綴歯科クラウン・ブリッジの担当者と協同研究する可能性あり | 保険診療に導入された睡眠時ブラキシズムを測定できる検査機器を用いた外来での睡眠時ブラキシズム診断・マウスピースの効果について |
| ER2024-002 | 承認 | なんでも相談窓口から見た糖尿病を持っている方の困難事例 3 症例 | 金谷 純子 | 吉田 知代 | 目的：2023 年度 1 年間のなんでも相談窓口を利用された相談者の中における糖尿病を持っている方のまとめ、困難事例について考え、今後の取り組みに生かす 概要：2023 年度 1 年間の相談者と糖尿病を持っている相談者を比較して（件数、年代別、相談内容、連携先等）、傾向を知り、困難事例の症例を報告する。 |
| ER2024-003 | 承認 | 人工呼吸器挿管期間と在院日数との関連性について | 畑 勇輝 | 角南 和治 桃谷 雅彦 草地 海翔 | 人工呼吸器による換気は重篤な呼吸不全の際に必要な医療行為である。しかし人工呼吸器は気管挿管を必要とし入院期間が長期化しやすい傾向がある。今回当院 HCU にて人工呼吸器を使用した患者の気管挿管期間と在院日数との関連性を明らかにする事で長期化した要因や多職種連携のあり方を見直し、再構築することを目的とする。 |